



## 手作りの恵那みそ蔵出し

12月20日、むつみマニュファクトリー（講座代表：丹羽瞳さん）で恵那みそ寒仕込み講座の受講生による蔵出し作業が行われました。この講座は、2月に200<sup>kg</sup>のみその寒仕込みを行い、10カ月を経過して熟成させ「恵那みそ」を作ります。受講生は出来上がったみそをその場で「ねぎみそ」にして試食し、手作りの味に満足していました。また作業の後に講師らと五平もちを作り、けんちん汁や持ち寄った漬物などと一緒に味わいました。

発酵具合を均一にするため手作業で混ぜ合わせる

## 回想法センターで同窓会

12月21日、平成16年から始まった回想法スクールの1期から4期の修了生、約40人による合同同窓会が明智回想法センターで行われました。毎月、各期では同窓会が行われており、今回初めて修了生全員で交流を目的に開催。スクール講師の名古屋女子大学梅本充子先生と同大学生生活福祉学科の学生が、センター視察を兼ねて参加し、手作りの五平もちを炭火で焼き、豚汁やお手製の漬物を味わいながら親睦を楽しみました。

中庭で焼きたての五平もちを味わう参加者たち



## あかどき 寺山門は岩村城赤時門

12月22日、岩村町の妙法寺で岩村歴史掘り起こし研究会が開かれ、約100人が参加しました。研究会では、お寺の大窪玄栄住職が冷水をかぶり、無病息災や家内安全を祈願する恒例の「水行祈とう」を見学しました。また岩村城の移築とされる同寺山門が、二の丸にあった「赤時門」という研究会の調査結果が発表され、参加者は払い下げの古文書などから特定に至った根拠の説明を熱心に聞き入り、メモを取っていました。

寒い中、飛び散る水しぶきに緊張の表情を見せる参加者



## 三郷小児童が英語劇

12月15日、三郷小学校で児童が英語の勉強の成果を発表する「英語集会」が行われました。同校では、平成12年度に市の研究指定を受けて以来、英語学習に力を入れており、年間1、2年生は20時間、3年以上は50時間の授業で国際理解や英会話を学んでいます。この日は、全校児童約130人が学年ごとに分かれ、保護者など約50人が見守る中、絵本「はらぺこあおむし」や国語の授業で習った「スイミー」などを英語で堂々と演じました。

1年生児童による「はらぺこあおむし」

## 地域の方に習って昔遊び

12月15日、大井小学校多目的室で同校1年生の児童30人が、地域の方と「昔遊び体験」を行いました。これは大井町夢おこし委員会が、保護者を中心に呼び掛け、放課後ふれあい教室準備委員会を設立。地域とふれあい子どもを育てようと昔遊びを企画しました。この日は、ボランティア団体「まんりょうの会」や、地域から約20人が参加し、紙芝居の読み聞かせの後、お手玉やあやとり、折り紙の手ほどきをしながら、一緒に楽しみました。

折り紙で恐竜作りを習う児童たち



## 心を癒やすコンサート

12月16日、市立恵那病院で冬のミニコンサートが開かれ、入院されている皆さんなど約80人が、恵那東中学校吹奏楽部約20人による演奏を楽しみました。同病院では音楽を聞くことで患者の皆さんに心を癒やしてもらおうと演奏会を企画。中学生は、サクソやクラリネットなどの金管・木管楽器の説明と7曲を演奏。「ホーリー・ナイト」などやさしい調べが響き渡り、一足早いクリスマスプレゼントになりました。

恵那東中学生がクリスマスソングをプレゼント



## 飾りつけもまた楽しい

1月13日、東野公民館で小学生を対象にした市民講座「ナンシーのおやつレッスン」が開催され、小学校3～6年生約10人がフルーツタルト作りに挑戦しました。

ナンシーこと永野佳代さんを講師に市民講座サポーターの中学生から手ほどきを受け、タルトの生地、カスタード、生クリーム作りから飾り付けまでを体験しました。子どもらは、白いクリームの上に色鮮やかなフルーツを楽しそうに盛り付けていました。

食べる時の次に楽しい飾り付けの瞬間

## 校舎裏に手作りスケート場

山岡小学校で1月16日、校内に手作りスケートリンクが完成し、6年生児童約50人が初滑りを楽しみました。同校では、児童の冬場の体力づくりとして、昭和51年から毎年、学校田を転用してスケートリンクを作成。昨年11月下旬から教職員と児童が協力して水まきなどを行ってきましたが、暖冬の影響で例年と比べ1週間遅れの1月上旬に完成しました。スケート靴に履き替えた児童らは、待ちに待った手作りリンクを満喫しました。

慣れた足取りでスケートを楽しむ児童



## 安全でおいしい給食を試食

1月22日と23日の2日間、市学校給食センターで第14回学校給食フェアが開催され、約80人が参加しました。これは全国学校給食週間に併せ、安全でおいしい給食を味わってもらおうと毎年開催。参加者は、調理行程や清掃作業、センター内に展示された各学校の給食風景や、1週間の給食のサンプルを見学した後に試食。保育園児を持つ参加者は「味もちょうど良くて、来年からちゃんと食べられると思います」と給食に満足していました。

子どもたちと同じ給食を味わう参加者



## トナカイと遊んだよ

12月24日、クリスタルパーク恵那スケート場でクリスマスイベントが開催され、多くの家族連れなどでにぎわいました。

この日は、高校生以下の滑走料が無料となったほか、無料スケート教室、恵那高校音楽部のハンドベル演奏など多彩な催しが開催されました。サンタクロースやトナカイによるそりの乗車会には長い行列ができ、そりでコーナーを曲がる時の子どもたちのかわいらしい笑顔が印象的でした。

子どもたちに人気のトナカイとのそり遊び

## ひし屋資料館が姉妹館提携

1月13日、「中山道ひし屋資料館」と、「東海道蒲原宿町民生活歴史館・志田邸」（静岡市）が姉妹館提携を結びました。志田邸は、江戸時代しょうゆやみその醸造元として名をはせた志田家の邸宅兼醸造所跡。両館は、歌川広重が両宿場を題材に、よく似た雪景色を描いていることから交流が始まりました。志田邸で開かれた調印式で、可知市長と志田館長が協定書にサイン。今後は、ポスターなど資料の交換や、人的な交流を進めていきます。

調印した協定書を披露する可知市長と志田館長



## 燃え上がる炎に願い込め

1月13日、飯地小学校校庭で新春恒例の左義長（どんど焼き）が行われ、児童や保護者ら約90人が燃え上がる炎の前で1年の健康などを願いました。ヒノキの廃材を組んだ周りに、子どもたちの練習した書き初めや地域で飾られた門松などお正月飾りを積み上げ、児童がたいまつで点火すると、勢いよく炎が上がり、書初めは黒くなって、天高く舞い上がりました。参加者は、竹や木の火をU字溝に移し、おもちなどを焼いて食べました。

子どもらの書き初めが燃え空高く舞い上げる